

情報セキュリティ基本方針

第1版

2015年7月1日

株式会社山形コミュニティデータセンター
常務取締役 鈴木 秀悦

当社は、地域の誰もが安全に安心して利用できる快適で効率的な IT 環境を提供するために、情報資産（情報および情報システム等）の重要性を正しく認識し、それらの情報資産を保護することを社会的な責務と考えます。

ここに、情報セキュリティ基本方針を定め、本基本方針に基づいて情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を構築・運用し、継続的に実践することを宣言します。

1. セキュリティ目的

当社は、以下のセキュリティ目的を設定し、この目的を達成するための管理体制を確立し、情報資産の適切な管理に努めます。

【セキュリティ目的】

- ・ お客様との契約、及び法的または規制要求事項を尊重し遵守する。
- ・ 情報セキュリティ事故を未然に防止する。
- ・ 情報セキュリティ上の脅威から情報資産を保護する。

2. 適用範囲

本基本方針は、データセンター従業員（常勤役員を含む）に適用します。また、データセンター事業活動の中で取扱う「情報資産」を対象とします。

3. 体制の構築

当社は、情報セキュリティマネジメントシステムを効果的に運営するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、情報セキュリティ委員会を設置します。これにより情報セキュリティの状況を的確に把握し、重要な情報資産の機密性、完全性、可用性を確保します。

4. リスク対策

当社は、対象となる全ての重要な情報資産のリスクを受容可能な水準に保つため、リスクアセスメントに関する体系的な手順と評価基準を定め、リスクアセスメントに基づく適切なリスク対策を講じます。

5. 教育・訓練

当社は、情報セキュリティマネジメントシステムの維持向上のため全社員に対して定期的に教育を実施し、効果を測定します。

6. 見直し・改善

当社は、経営方針の変更、事業内容の変更、社会的変化、技術的变化、法令等の変更などに伴い、本基本方針を定期的に見直し、改善を図っていきます。